明治四十八年六月二十八日（第三種郵便物認可）
大正元年八月廿五日發行（毎月一回二十九日發行）

# 婦人新報

第百八拾貳號

八月號

二重橋外に國民泣いて聖上御惱御平癒を祈り上る

日本基督教婦人矯風會

# 婦人新報第百八十二號目次


社説

嗚呼 明治天皇陛下の御聖德

講演

矢野氏の藝妓論を讀む　早大教授 安部磯雄氏

感化の力　救世軍大佐 山室軍平氏

もしほ草

時事雜感　廓清會理事 益富政助氏

男女の交際　河井道子女史

山より町へ　はな子

眞の儉約の仕方　嘉悅孝子女史

はたらき

過ぎし一年間　萬國本部派出員 ミスデビス

本部の一年間　通信書記 高原孝子

各課の一年間

▲風俗課(名出兒子)▲交際課(淺井奏)▲救濟課(島田信子)▲工女課(パンハインド)▲衛生課(大關ちか)▲教育課(渡邊常)▲花の課(城戸順)▲青年課(カンドレット恒子)▲書記手當決算報告(宮永のぶ)

第廿回大會所感　城のぶ子


## 社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一部(前金)　金六錢

六部(前金)　金三十五錢

十二部(前金)　金七十錢

(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢


大正元年八月廿三日印刷

大正元年八月廿五日發行

發行兼印刷人　矢島楫

編輯人　高原孝

發行所　東京市麴町區上二番町卅三 矢島方　婦人新報社

編輯及事務所　麴町區上二番町卅三 矢島方



No.182　SEPTEMBER. 1912


# WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.


The Virtue of the Late Emperor.
................................Mr. Masutomi.

Mr. Yano's Book on the Geisha(Continued)
................................Mr. I. Abe.

Infruence(Continued)............Mr. Yamamuro.

Burrent Topics..................Mr. Masutomi.

The Mixed Society ..............Miss. M. Kawai.

Literature .....................Miss. Annaka.

True Economy....................Mrs. Kaetsu.

Reports.........................



FUJIN SHIMPO OFFICE.

c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.

70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

# 高貴御用品

香料中の香料

## 衣裳の薫!!!

家庭の箪笥夜具櫃には衣裳の薫をお忘なくお入遊ばせ蟲害や濕氣を充分に防ぐ理想の香料であります。

外出には衣裳の薫の移り香床しい召物をお召遊ばせ汗の臭を去り行交ふ毎にゆらぐ薫は自ら氣品を高めます。

夜會、觀劇などにはせひ衣裳の薫の匂ひ床しい晴着をお召遊ばせ傍の人々に快感を與へるは勿論自ら氣品を高め美しい衣裳に一段の美を添へ相互の愉快は無上。

○矯風會員は婦人新報社へ
○關西の諸姉は大阪支部へ御注文を乞ふ

發賣元 浪華 東都 東籬園




Digitized by Google    Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診察 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番



看護婦幷に見習生

募集

東京芝區葺手町五番地

渡邊看護婦會

會主 渡邊鎌子

電話芝壹三九三番




Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 先帝陛下の御平常

## ●御血統

謹んで先帝陛下の御血統を按じ奉るに、東山天皇の御子直仁親王より出でさせ給へり。直仁親王は閑院宮家の御初めにまします。此頃まで皇室の御慣例として御嫡子にまさぬ皇子は、御出家あらせらるゝ事なれども、徳川六代將軍家宣の時新井白石の建白により新たに閑院宮家を立て給ひたるなり。後桃園天皇即位ましまして後、皇子おはしまさゞりしかば、安永八年閑院宮直仁親王の御孫兼仁親王を御養子となし給ひ、同年崩御と共に兼仁親王位に即き給ふ。是ぞ光格天皇にして、仁孝天皇、孝明天皇御父子相傳へて孝明天皇第二の皇子にます先帝陛下に至らせらる。嘉永五年壬子九月二十二日正未刻(今の午後二時)に京都中山忠能卿第内の御產所に御降誕あらせらる。御母は權典侍藤原慶子なり。京都御所の東北に當りて交番所の在る東手を鐵柵をもて繞らせたる三百坪ばかりの地區、是れ中山大納言の邸趾にて陛下御降誕の御址なり。

## ●御幼少時の御聰明

陛下御幼少の時より御聰明に渡らせらる。忠能卿と御生母一位局傅づき參らせ、有栖川宮殿下は習字を御指南申上げ、正親町大納言實德卿御傅役として御學問を勸め奉られしに、一を聞いて十を悟らせらるゝ御聰明の御生れとて日毎月毎に進ませ給ふ。九歲の御時よりは御手づから墨を磨らせたまひ、御草紙も亦御手づから綴らせられ、手本を納めたる御文庫は必ず御身づから扱ひ給ひて御附の女官達に任せ給ふ事おはさゞりき。御年八歲の時父帝と共に觀兵式に臨ませられたる時、午時近く大雨沛然として至り、風と雷と加はりて恐ろしき天氣となりたれども陛下には物とはし給はず御簾を掲げて端近う出で給へば、此日の指揮官たりし



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蜂須賀阿波守、遙かに御棧敷の方を仰ぎ奉りて『あはれ此の皇子の勇ましき御姿よ』と感涙に咽びたりとぞ陛下が如何に御幼時より文と武と兩つながら好ませ給へしかは此の御逸事にて拜察するを得べし。

## ●御一生の御事業

陛下には御年十五にまします時父帝崩御し給ひ、聖算十六歳にまします時御踐祚の御事あり。時に尊王攘夷の議論天下に喧しく、各地騒擾甚しくて、國内恰も鼎の沸くが如く、世は忽ち一大兵亂の巷とならんとせる折柄なれば、陛下の御心勞は尋常ならずおはせしが然も慶應三年十月十四日と云ふに德川十五代將軍慶喜は上表して政權奉還を奏聞するに至り、朝廷は直ちに其請を允し、宣命使をして先帝の御陵に奉告あらせられ、大政復古の大事業は苦もなく完成せられ、明治聖代の昭光は赫々として輝き初めぬ。斯くて明治元年正月には陛下紫宸殿に出御五事を神明に盟はせらる。是ぞ維新史上に名高き五ケ條の御誓文にして、後來立憲政體の基礎も、信教自由の精神も皆此中に早くも築かせらるゝに至りぬ。次に東京へ御遷都となり、廢藩置縣となり、佩刀の廢止、地租稅法の改正となり、敎育勅語の煥發、憲法の發布となり、二大戰役を經て帝國は世界的大發展をなし遂げぬ。此間に於ける陛下の御精勵は吾等の感佩すべき所にして、此の大發は皆陛下の御稜威に據る者にして、陛下が御惱の報一たび傳はるや老も若きも赤子の慈父に於けるが如く、熱誠罩めて御平癒を祈り奉りしも宜なるかな。されど此の聖天子今や既にましまさずなりぬ。哀しとも哀しき極みならずや。

## ●諫言の御嘉明

明治四五年の頃なりけん。政務頗る多端にして陛下には些しの御惱みをだになかりしかば、玉體の健康如何かと、判任女官の中心得ある者共を集め、能狂言と演劇とを一緒にしたらんやうなる脚本を作らしめ、御簾越しに御覽せられしに殊の外御感にかなひ、之よりは毎夜其御催しあり、管絃の音遠く深更まで響くに至れるにぞ、侍臣の誰彼御前にまかでゝ『萬一御逸樂に御耽りあつて政務を怠らせ給ふ如き事おはしては由々しき御大事なり。爾今演劇の御覽は少しく御制限あらまほし』と御諫奏申上げしに、陛下には暫時御沈思の後『誠にさなり。爾今廢止せん』と仰せあり。それよ



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りは、はたと管絃を召させ給はざるより、侍臣は再び『かく御全癒とありてはあまりに恐れ多く候、願くは中庸を失ひたまはぬやう御慰みあらまほしく候』と奏上せしに、陛下には御容を正しうしたまひて『中庸を得るは最も難き事なり。朕は初めて演劇を見て甚く面白く感じ、將に之に溺れんとしたり。是れ大なる過ちなりき。今や邦家多事の際、朕も亦修養を怠るべきの時にあらず。自ら省みて爾今此種の遊興は寧ろ絶對に遠ざくるに若かずと思惟せり。汝等決して憂ふるなかれ』と御仰せありき。有難き事にあらずや。

## ●御儉德

明治の初め千代田の御宮居は一千萬圓の工費にて建築しまつるべき筈なりしが、御折柄陛下御巡覽あつて有司に向はせられ『如何に泰平の世たりとも諸民悉く豐かにして其所を得る者はあらじ、されば朕の宮城のみを莊嚴にせんこと甚だ本意に非ず』と仰せられ、其費用に大節減を加へさせたまひぬ。近年は殊に御儉德いちゞるしく、日常の供御はいふまでもなく、宮中の諸調度等すべて質素を旨とせられ、嘗て宮中の絨氈甚しく損傷せし時の如き、之を取換へ奉らんとせしに其儀に及ばずとて御採用なかりしと云へゝ又御發病前程遠からぬ時の事なりき、御座の間に二個の氷花を置きて御涼氣を送るのよすがとしたるに、此は贅澤なりとて斥け給ひしと承る。萬乘の君にさへ斯く御儉德にまします。況んや吾等臣民はいやが上にも節儉の德を守らざる可からず。

## ●御景慕の人々

先帝陛下が皇祖皇宗を尊敬したまふ御心の深きは申すまでもなきが、尚釋迦、孔子、基督の如き世界的偉人にも敬虔の意を表し給ふ事深く、わけて我國の忠臣義士を御追慕遊ばさるゝこと申すも畏こく、和氣淸麿楠公父子を大忠臣として日頃數へたまひけるが、是等の英雄傑士の事蹟は係りの史官をして詳細に調査せしめ、又畫家に命じて繪卷物として御座右に備へさせ給ひしとの御事なり。近世にては山鹿素行、水戸の義公烈公などを御追慕あり、是等忠臣の傳記にして詳しく調査の上御手許に保存さるゝ數は夥たゞしきものなりと承る。尚西南の役、日淸日露兩役の戰歿者に對しては下一兵卒一軍屬に至るまで、高等官一人屬官五人して專ら事蹟調査に從はしめられ、二棟の文庫に御納め



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ありて、簡便なる索引によりて何時にても其事情を詳らかにするを得るやうなさしめ給へりと。

## ●下情に通じ給ふ

先帝陛下御幼少の頃、一日御父帝孝明天皇の御前にて『トーフイ、トーフイ』と廻らぬ御舌にて頻りに呼ばせたまふに、父帝は何を言ひ居らるゝものか解し兼ねたまひ、侍臣に其意味を御下問ありて、初めて豆腐屋の聲を眞似たまふものとお判りになり、大に笑はせ給ひたりとぞ。斯く御幼時より下情に通じさせ給へるは皇居炎上後桂宮に御座ありし時、同宮に八疊ばかりの御物見あり、其下を諸商人が聲を揚げて物賣り歩く様を常に御覧ありてかく眞似たまひしに始まるものなりと承る。

## ●下民を恤み給ふ

陛下には毎年暴風の折などは中央氣象臺に對し、農家に被害なきや臣民に怪我はなきやと必ず御下問あり九重の奥雲深けれども、東京市内に火災ありて警鐘を打鳴す時は御聰く其音を聞召され、玉體を御椽に運びたまひて、空の紅き方を御覧あり、類焼戸數、死傷者の有無など詳細に御下問あらせらるゝを常としたまひき。尚明治十一年新潟縣下行幸の砌、御通路の兩側に人山を築ける奉迎者眼病に罹れるもの多きを御覧じて、太く御軫念あらせられ、侍醫を遣はして御慰問の事あり數千金を賜ひて罹病者を御救濟あらせられしとなり又昨年御手許金百五十萬圓を下し賜ひて、貧困にして醫藥の資なきものを救濟するの資に充て給ひ、是に由りて濟生會なるものゝ起りしは人尚記憶に新たなる所なるべし。下を惠む御仁惠の程、有り難しとも忝けなしとも讃へ奉る言だになきを覺ふ。

## ●内親王御婚儀の事

陛下第一の皇女常宮昌子内親王殿下の竹田宮恒久王殿下と御婚儀の事決するや、御婚儀係の侍臣より豊明殿大宴會の儀勅許を奉請しまつりしに、容易に御許しの御沙汰なく『結婚は其式を莊嚴ならしむれば足れり』と宣はせられ、御婚儀旬日の中に近づくも何等の御沙汰なきにぞ、一同はひたすら此勅許をのみ待ち奉りたるに漸く一週日前に至りて勅許あり、然も極めて質素なる御宴會にて、其他御調度の一切についても冗費を節せよとの御諚屢々ありたりとなん。されば吾等賤民



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の婚禮に數千金を投ずるなどこそ沙汰の限りと申すべけれ。

## ●御製米大統領を感ぜしむ

陛下平生の御嗜好とては、唯歌を詠み給ふと、馬を愛させ給ふ事の外、何等の御嗜もおはさゞりき。御一生の御製はつもり〳〵て九萬餘首に達し、此中英又は獨譯にされて廣く世界に紹介されたるものも少からざるが、世に公にされたる御製は主として實踐道德に關するものにして、世道人心に稗益する所少からず、中にも日露戰爭中に遊ばされし

四方の海みなはらからと思ふ世に
なぞ波風の立ちさわぐらん

の御製はロイド氏の譯により、米國大統領ルーズベルト氏の感ずる所となり、日露仲裁談判は之が爲大に効果を生じたりと承る。

## ●御孝心

陛下には御孝心深くまし〳〵て、英照皇太后崩御あらせられし時など、直に靑山御所に行幸仰せ出され、鹵簿の未だ備はらせられざるに早くも出でましたるなど申すも畏こし。又或時御父帝孝明天皇御遺愛の什物を整理せさせ給ひし折、聊さか表裝の損じたる應擧が雙幅を見出し給ひ、美しく改裝せよと侍從に仰せありしを此の道の鑑定に堪能なりし一侍從は、御諚には候得ども、こは眞の圓山が筆には候はず、改裝に及ぶまじく候はんかと申上げしに、陛下には御氣色嚴かに、應擧なると應擧ならざるとは朕の問ふ所にあらず。朕はたゞ先帝御遺愛の御幅なればこそ汝に改裝を命じたるなれと仰せありたれば、件んの侍從は消えも入りなんばかりに己が失言を恥ぢたりとぞ。さるにても陛下の御孝心の深さには誰かは感佩し奉らざらん。

## ●聖恩禽獸に及ぶ

先帝陛下が民草を赤子の如く御慈み遊ばされし事は申す迄も無きが、宏大無邊の御仁慈は禽獸にまでも及ばせられ、澁谷の御料牛乳所などへは毎月必ず勅使を立てさせられ、牛の動靜を御下問あり。日露戰爭の終れる頃乃木大將は支那豚を獻上したるに、そを房州の御料牧場に置き飼養方を命じ給ひ、是亦毎月必ず其動靜を御尋ね遊ばされき。特に御乘馬を愛したまひしことは殆んど人間に對せらるゝと御同樣なりし由にて、



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある夜深更御愛馬初來病み悩めりとの報を耳にせられ畏くも深く御憂慮ありて即刻見舞遣はせよとの御諚あれり。爲に勅使を立てられしとなり。又明治九年東北御巡幸の御折、日光の行在所を出でさせられ、中宮祠に御幸ありて社務所に御駐輦遊ばされし時、村長より生ける一頭の大鹿を獻じまつりぬ。供奉の人々は珍らしき事に思ひ直ちに御前に御披露申せしに、陛下には御感斜めならず、村民どもに多くのかつげ物賜はりしがやがて侍從を召され彼の鹿は山奥に連れ行き直に放ちやるべしと命せられたり。侍從等は今宵の供御に參らせんと思ひたるに此鹿放てとの御諚を承はり、禽獸にまで及ぼし賜ふ御仁德の程を推しまゐらせて只々感泣せしとぞ。

## ●老いて益々御壮んなり

昨年の夏の末桂公が内閣を辭する折の事なりき。公は陛下の御前に伺候して、微臣近來いたく老衰して大任を全うする能はず。甚だ恐れ多ければとて辭任の御裁下を乞ひまつりしに、陛下にはいたく御不興の御氣色に渡らせられ、『卿は本年幾歳ぞ』と問はせらる。桂公『六十五歳にて候』と申上げしに陛下には『六十五歳にて老衰とや。朕も既に六十の齢に達したれど、自から決して老衰せりとは思はず、六十代は仕事の仕盛りなり、朕は政務を見ること一日と雖も懈ること無きに非ずや』と仰せられしに、公は恐懼のあまり總身を打顫はして御前を罷り出でしとぞ。之と同じ様なる御事を德大寺侍從長に仰せられし事あり。そは侍從長が老軀もはや重任に當り難く、若失態等ありては惶懼止む所を知らざるに付願くば臣が職を免させたまへと奏上したるに、陛下には『朕は永久に辭職すること能はざるに非ずや。汝も亦朕と同じく身を以て國家に任せざる可からず。朕辭職せば汝も辭職せよ。それまでは辭職の事許し難し』と仰せありたるより、侍從長は此の優渥なる聖旨を拜して感泣覺えず數刻に亘りたりしと云ふ。

## ●烟草に付ての御戒め

五六年前のこと、或朝陛下には吹上御苑を散歩せさせ給ひし折柄、ふと御眼に止りたるは小松の根に落ちたる卷煙草敷島の吸殼なり。陛下には侍從を顧みさせ給ひて『こは、多分庭師などの業なるべし。煙草は喫まざるがよけれども、そを樂みの一つとするならば、火



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を注意してこそ喫むべきなれ。さはれ之を見よ、こは敷島にあらずや。敷島は巻煙草中にても上等のものなるを、庭師風情にて之を喫むは贅澤なり。其者重ねて參らばよく／＼言ひ聞かせて朝日か山櫻を喫むやうにせさせよ。人は分相應に勤儉せざれば悔いて返らぬ事あるぞかし』と仰せ給ひければ、侍從は深く陛下の御儉徳に感佩し、其日直ちに其御庭師の誰なるかを詮索し陛下の御言葉を傳へて戒むる所ありしかば、御庭師は且つ恐れ且つ恥ぢらひて、即座に禁煙を誓ひ、家に歸るや更に家族にも弟子にも聖旨の程傳へて共に禁煙し、其費用を貯蓄することゝしたり。後にて此事叡聞に達し、陛下には庭師が心を褒めたまひて、金千疋を御下賜あらせられけり。

## ●酒に就ての御注意

先帝陛下には御體格の人にすぐれさせ給ひければ、御年若き頃は御酒量も又なか／＼におはせしが、中途侍臣の御諫言を容れて御禁酒遊ばされぬ。世には禁酒を勸められても、天盃を賜はる時には如何にすべきや。禁酒なればとて頂戴せざるは不敬ならずや。依に絶對の禁酒は出來ずなど云ふ人あれど、陛下には御自身にて御禁酒遊ばされたる程なれば、決して禁酒者に酒を強ふる如き事をなし給はず、故に侍從の嗣子が丁年に達したる時宮中にて天杯を賜はる時など、殊に酒を酌する者が『禁酒ならば飲むに及ばず』との御諚を傳へさせらるゝが例なりと承る。

## ●老人と學者を重んぜらる

陛下には又常に『學者は國寳なり』と仰せて、學者を尊敬したまひ、先年植物學の泰斗伊藤圭助翁病氣危篤の折りの如き、陛下の御言葉にて金一萬圓を御下賜遊ばされ、華族に列せられたるが、故福澤諭吉氏の病革まりし時も御菓子料を賜ひ華族に列する旨御達しありたるも、氏は何等の功なくしてかゝる天恩に浴するはあまりに恐れ多しとて御辭退申上げしかば、さらばとて金五萬圓の祭粢料を御下賜相成りたり。侍講三島毅氏の如きは已に老體になりたりとて、殊に御優遇あらせられたりと承る。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 矢野氏の『藝者論』を讀む（續き）

早稻田大學教授　安部磯雄

## △寧ろ大膽なるに驚く

第二は金儲けの事であります。此方は矢野氏は稍ゝ論理が立つて居るやうに思ふ事がある。非常に矢野氏は新思想家、謂ゆる新進歩主義を自分には衒つて居るやうに思ふ。自分は男尊女卑などと云ふことは嫌である男子も女子も同じ事である。決して女子を踏付ける事は出來ないと云ふことを言つて居られる。成る程是は言はぬよりは言つた方が宜いと思ひます。其點は攻擊は致しませぬが、論理の通つて居る所から申しますと諸君は餘りに矢野氏の議論の大膽なるに喫驚なさるであらうと思ふ。何であるかと云ふと、男は金を儲けて女を養つて居るのであるから、男は不品行をしても差支ないと云ふのである。さうすると若し女が今度非常に金を儲けて、金持になつたらどうかと云ふことが直ぐ起つて來る疑問である。それには矢野氏は女が金を澤山儲けて、自分の身を立てるやうになつたら其時は女も自由におやりなさい。成る程、是は論理に適つて居ると言へば確かに論理には適つて居る。併し隨分亂暴な議論ではないかと思ふ。多分察するに、自分はさう云ふ議論をしても、當分は女で澤山金を儲ける人が出て來る氣遣はないから、斯う云ふ議論をしても大丈夫であると云ふ先きを見越しての議論であらうと思はれる。こんな事は實際男が眞面目に論ぜられる議論ではないのであります。

## △金力と不品行と

それで金を儲けると云ふことゝ、男の不仕鱈と云ふことに就て、チヨツと批評して置きたいと思ひますが私は今日の事實から見ると、矢野氏の言ふところを大分許さなければなるまいと思ふ。今日實際男子が我儘をやつて居ると云ふことは、男子が金を儲けて女を養



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて居ると云ふ點にあると云ふことは、事實としては大部分は許します。出來るならば、私共は是から先きは女子が、自分に職業をして、獨立の生活をする。さうして經濟上獨立すると云ふことは今日必要であると思ふ。是から先きは、女子の敎育をする親も、其考を持つて貰はなければならぬ。自分の娘は、まさかの場合には自分の腕一本で、此世の中に立つて行くことが出來る。經濟上の獨立が出來ると云ふ位に敎育することが必要であると云ふことは認める。けれども私は金を儲けるところのものが、それが非常に權力があつてどんな我儘をしても差支ないと云ふ程の權力のあるものであると云ふことは、どうしても信ずることは出來ない。よしんば世の中が轉覆して、さうして女子の方が總て金を儲ける方に廻つて、男子は家に居つて家庭の仕事をすると云ふやうな非常な場合になつたと假定しても、私は女子が其理由を以て不品行をすることは出來ないと云ふことを辯じて置かなければならぬと思ふ。

### △矢野氏は經濟の原理を無視せり

第一金を儲けると云ふことに就て世人は誤解して居りはせぬかと思ふ。金を儲けると云ふことは、是は經濟學の講義をするやうでありますが、富と云ふものは決して金ばかりではない。是は誰でもよくお分りになつて居る事と思ひます。今日は富と云ふものは決してピカ〳〵光つて居るところの金ばかりではない。或は容易く我々が數へる事の出來る紙幣でもない。あれは富を代表して居るものである。主人が世の中に出て、役所或は會社に働いて、紙幣のやうなもの、ピカ〳〵光つたやうなものを持つて歸ると云ふことは事實である。併ながら富を作ると云ふ點から言ふならば、男も女も同じ事で、女は家に在つて仕事をして居る。或は裁縫をし、洗濯をし、掃除をして居るのである。若し之を一々勘定に書きつける事が出來るならば、女子が家内でやつて居る勞働に對しても、相當の賃銀があつて然るべきものである。之を計算上から言つたならば假りて亭主が一年間に二千圓の收入があるとしても、女が家で家政を切り廻して、十二時間も働いて、家の爲めに盡して居ると云ふことに就ては、是も八百圓か千圓位には見積らなければならぬ。之を見積らないと云ふ經濟學は今日の世の中には無い。唯是は帳面につけないだけであつて、實際はそれだけは此處に出て來



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なければならぬ。それでありますから經濟學者も言つて居る。英吉利中の女子が働いて居る富、謂ゆる無形の富と云ふものは、之を計算すると、男子の半分の額若くは三分の二位には達するであらうと云ふことを言つて居る。其通りでありまして此點から申しますならば、女子と云ふものは働いて居ない金を儲けて居ないと云ふことを、今日男子の方から言ひ得る事であらうか。さう云ふ議論が立ちませうか。それは男が幾ら立派な勝手な事を言つた所で、學問と云ふ裁判所に來たならば、男は必ず敗れて、女の申分が立つと云ふことを私は斷言するのであります。若し矢野氏がそれを不服だと思はるゝならば、もう一つ適切な例を擧げて見たいと思ふ。

### △舊式の經濟論

今日は男子が役所或は會社に行つて、月給を貰つて現金を持つて歸るから、お父さんが働いて、金儲けをして歸つて來たやうに言ふて、一家中大變に重んずるやうな氣風があるけれども、是は昔もさう云ふ事があつた。昔は實際物を作る人がエライと思つた。それでありますから百姓が一番エライ、百姓は食物を作る、

食ふべきものを作つて、之を供給するのでありますから、今から百年、百五十年前の經濟學者の論を御覽なさい。佛蘭西などでは農夫を經濟學の中心として居つた。農夫と云ふものは物を作る。生産的の働をして居るものである。さうして物を作らないところの人は、幾ら働いても商人の如きは不生産的の人間であると思ふて居つた。無論教育家であらうが、文學者であらうが、宗教家であらうが、法律家であらうが、さう云ふものはちつとも、米を作らなければ野菜も作らないのであります。そこで斯う云ふものは皆不生産的の人間で、唯農業階級のみが生産的の人間であると云つて居つた。或は製造人は生産的であつて、今日の謂ゆる商業家と云ふものは不生産的のものであると云ふやうなことは、今から百年前に溯ると、經濟學者が稱へて居つた所であります。矢野氏のやうな人は百年前であつたならば、お氣の毒ながら不生産的の人間であると言はなければならぬ。銀行の重役、保險會社の重役をして居る人である。保險會社、銀行などと云ふものは不生産的のものである。隨つて矢野氏は不生産的の人間である。さうすると昔ならば矢野氏の今日言ふことは百姓の方で言つて居る。それで矢野氏のやうな商人と



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

云ふものは、即ち今の女のやうなもので不生產的のものである。あれは不生產的の人間であるとか、あれは己れ等の力で食つて居る寄生虫であると言はれて居つた連中であります。處が世の中が段々變つて來ると、世の中は相持ちで行かなければならぬ。決して百姓だけでも社會は立つて行かぬ。百姓も製造人も、商人も皆互に相提携して、揃つて行かなければならぬ。製造をしないでも、商人と云ふものは今日は生產的の人間であると云ふことは、今日の經濟學から云ふならば、誰一人として之を拒むものはない。世の中がさう云ふ風に變つて來たのであります。さうすると、今の婦人と云ふものは不生產的の人間である。金を儲けないと云ふやうな考は、餘程舊式の考であつて、矢野氏のやうな、今日實業界に働いて居る有力な人が、今から百五十年も昔の經濟思想に囚はれて居ると云ふことは、私共は甚だ慨然な事と思ふのであります。

### △所詮舊式の頭腦なり

總て女子と云ひ、男子と云ふ此區別と云ふものは、經濟上から見まするならば、何等の區別がないのであつて、唯私共は表面を見ると、一方に形ある金錢を取つて來る方の者が生產者のやうであるけれども、苟くも男女と云ふものが一家を經營して居る以上は、どちらが生產者で、どちらが金を儲けて來る者であるかと云ふことは、私はさう云ふ事は頭から言ふことは出來ない事柄であると思ふ。斯樣に論じ來つて見まするならば、矢野氏の言ふところの働いて金を儲けて來るものは、少しは自由、我儘勝手を働いても差支ないと云ふ議論は極めて根據のない議論であつて、さう云ふ思想は、總て今日の經濟思想から云つても、我々はどうしても採る事の出來ないものである。と云ふことと私は思ふのであります。

### 天機奉伺と哀悼

先帝陛下御不豫の報一たび傳はるや全國六千萬の同胞は何れも熱誠罩めて御平癒を祈り奉り吾等も亦日々祈禱會を開きて御全癒あらせられん事を祈り奉りたり、殊に本會を代表して副會長本多貞子氏及び山東泰子氏は宮内省に出頭 陛下の御機嫌を奉伺せり。忽々 先帝陛下崩御の報傳はるや。矢島本會々長は女子學院の校長として七月卅一日宮内省に出頭し謹んで哀悼の誠意を表せられたり。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 感化の力

救世軍書記長官　山室軍平

## 私は救世軍に這入つて

今日までにまる十七年近くになつて居るのであります。最初這入つて一年經たぬ中と記憶して居りますが、當時武州の八王寺に大變な火事がありまして、何でも町の三分の一だか、半分だか燒けたのであります。お氣の毒と思つて、其時に私は今のやうに信用もない書生上りの私であつた。端書を四五百枚刷つて知つた人、知らない人に送つて、若し火事に遭つた人をお助け下さるやうな思召があつたならば御寄附を願ひたいと云ふことを申し送りました。處が、案外の反響がありまして、三十錢、五十錢、七十錢と云つたやうな寄附金が何でも三四百圓寄つたと覺えて居ります。其時はそんな譯でありますから救世軍も小さい、大抵何でも一人か二人でやつてのけてしまはなければならぬ時であつた。私はそんな事で毎日郵便局に爲替を取りに行つて居つたのであります。今でも忘れませぬ一つの事は、其頃私が毎日行きまする郵便局の小さい窓の中に、多分腸胃が惡い人であつたらうと思ひます。恐ろしい癇癪持が一人坐つて居つた。何時行きましても怒らない事はないのである、印形の捺きやうが惡いとか字の書き方が惡いとか云つて必ず怒る。さう怒らぬでも宜いだらうと思つて、初のうちは好い氣持もしませぬでしたが、前にも申しますやうに、毎日行くものでありますから後には慣れてしまつて、たまに怒らないと何だか物足りないと云ふ風な氣になつて來たのである。處が私が見て居りまするに、外の人はさうは行かない。さう始終郵便局にばかり出入をして居る者はありませぬから、やつて來ると判の捺き方が惡いとか、何とか云ふ。何を怒るのだと皆んなが怒つて歸つて行く。其樣子を見て居る時に

## 私は斯う云ふ事を考へた

今でもそれを覺えて居りますが、是は面白いぞ、東

京の町見たやうな交通の頻繁な所にある郵便局で、是は至極妙である。此窓の中に斯う云ふ癇癪持を坐らせて置いて、年が年中頭から怒りつけると云ふ事になつたらそれがどんな影響を及ぼすだらうか。中には遠方から今日はチョッと郵便局で金を取つて、歸りにはお魚を買つて來るよッと云ふやうな事を云つて、ニコニコしながらやつて來る。來て見ると判の捺し方が悪い何が悪いと云つて怒られる。それはマア漸く談判をして金だけは貰つて歸るかも知れぬけれども、少しムッとして居る。途中で知合ひの人に逢ふ「今日は結構なお天氣で」と言はれても默つて居る。怒つて居るから好い挨拶が出來ない。先方では今日は如何にも彼奴はツン／＼して居ると云つて怒る。其怒つた人が又怒る又其怒つた人が、さきに行つて又怒る。そんな譯で、一日朝から晩まで、百人か二百人か知らぬが、來る程の人を怒らして歸す。その怒られた人が又皆んなを怒らして歸る。それが又先き／＼で怒つて歩く、それを一日やられただけでも大變なものである。若しそれを誰か尾行して行つて調べる事が出來たならば、此一人の癇癪持の爲めに、どれだけの影響を皆んなが受けて居るか分らない。處が、それを年が年中やられるのだから堪つたものでない。癇癪持は私の持前だと云ふかも知れませぬが、持前ならば我慢なさい。其持前の癇癪を振廻すために、どれだけ世の中に禍を及ぼして居るか分らない。是は獨り癇癪持に限らない。あらゆる行ひ、あらゆる言葉、あらゆる擧動が悉くそれと同じやうな譯であるから、自分一人で勝手だとは言はせない。それが皆んなに影響を及ぼして居るものであります。

## 悪い方ばかりではない

善い方も是と似た事がある。英國の倫敦に行きますとラック、スクールと云ふのがあります。襤褸學校と云ふのでありませう。悪い名であります。東京では特殊小學校と云ふのである。貧民の學校で、或時貧民の小娘が學校に來ましたが、どうも外の子供も、何れも汚ない子供が多いのでありますけれども、其子供と云つたら、何時顔を洗つたか、何時髪を梳つたかハヤ始末にいけない汚ない顔をした娘の子である。そこで親切な一人の女の先生が課業の間に子供を連れて行つて、湯に入れて顔を洗ひ、頭の髪を石鹸で洗ひ櫛でかいて奇麗にして返してやつた。家に歸るとお母さんが喫



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

驚して、お前はどうしてこんなに奇麗になつて歸つたかと云ふと、學校の先生が親切に石鹸をつけて頭を洗ひ、顔を洗つて奇麗にして下さつた、櫛でかいて下さる時には頭の髮がもつれて居つて痛かつたけれども、其代りに痒くなくなつたよと云つたやうな譯でありませう。お母さんも先生から顔を洗はれたのは、餘り汚なくして居つたからだと思つて、晩方に仕事が濟むと今日はと云ふので、家のお母さんも一生懸命に顔を洗つた。そこへ親爺が歸つて來たさうである。勞働者であるから汚ない姿をして歸つて來た、家内と子供を見ると今まで見た事のないやうな顔をして居る。どうしたんだねと尋ねると、學校の先生が是れ〱である、さうか、親切な方であると云ふので、それから親爺が又やつた、一生懸命に顔を洗つた、親子三人で何時もにない奇麗な顔をして晩御膳を食べて居る處へ、隣のお神さんが今晩はと云つて覗いて見ると、

皆んなが餘り奇麗な顔をして

居るから喫驚して、何だかイヤに奇麗な顔をして居ると云ふので、譯を聞いて見ると、成る程と云ふのでそれから家に歸つてコソ〱顔を洗つた、キッと翌日は子供の起きた時に顔を洗つてやつたに相違ない。初めに一人の親切な女の先生が、汚ない女の子一人の頭を洗ひ、顔を洗つてやつたが原で、一週間と經たない中に貧民窟の一部が悉く顔を洗ふやうになつたと云ふことである。

さう云つたやうな風に善でも惡でも、私共のする事は一人に止まらない、非常に廣く影響するものである「舅嫁踏む、嫁下女を踏む、下女は釣瓶の繩を踏む」順繰りに傳つて行く、池の中に石を落したやうなもので落ちた石は一つであるけれども、小波が立つて段々廣がつて行く處は、池一杯にならなければ止まないのである。格別に人の上に行く其人の一擧一動が、其下に來る人に及ぼす影響は更に甚だしいものだと云ふことを知らなければならぬ。親は子供に及ぼし、姉は妹に及ぼし、兄は弟に及ぼす、或は先輩は後輩にと云つたやうに、上の好むところ下、却て是より甚だしいものであると云ふことは其事である。一人のやることが必ず外の人に影響を及ぼすのであると云ふことを考へれば、私共は實にエライ責任を帶びて居るものである。一言の言葉も或は一擧の行ひも、自分一人には止まらないで、悉く稠人公座の中で多人數に影響を及ぼすも



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のだと氣がついたら、自分の生涯も容易には是はなすことが出來ないと云ふ道理が分つて參るのである。今少し時間を頂戴致します。

## 今まで申しました事は

私共の致しまするこ と、言ふ言葉、持つ思ひが、横に廣く、同じ時代の人々の上に大なる感化を及ぼすものだと云ふことを申したのであります。尙ほ進んで考へますれば、私共は横に廣く、同じ時代の人々に感動を及ぼすやうに、今一つ縱に長く子々孫々の時代に又自分の感化、良風を殘しまするものだと云ふことを考へる必要があります。此意味から申しますれば、私の流儀で言へば、人間の生涯は渡し船のやうなもので、先祖から受取りました時代を、私共と云ふ現代の船に載せて、之を未來の時代の岸に渡して世を去る筈のものである。それも唯船で物を渡すと云ふならば、こちらから荷物を一荷、人間を一人載せて岸に渡すならば一荷の荷物と人間を渡すのである。併ながら人間の生涯はさうは簡單に參らぬのである。私のやる事は例へば水漉し桶で水を漉すやうなものである。或は砂を漉せば交り物があつても、幾らか純良水になるのである或は灰を漉せば純良水がアクになつて出て來る。でありますから、それと同じやうに、又諸君は先祖から受取つた世の中を後世子孫に、善か惡かの色合をつけて之を引渡すものであると云ふことを考へなければならぬ。尙ほ進んで考へますれば桶に入れまする水は、上から一升入れますれば、下から一升位は出て來る筈のものかも知れない。然るに私共のやる事の、後世に殘す感化と云ふものは、一人が一人に感化を殘すのではない。一人のやつた事が、時あつて何百人、何千人、何萬人の上に非常な影響を及ぼすものであると云ふことを知らなければならぬ。

## 昔の諺に一粒萬倍

と云ふのは其事で、一粒の米麥が萬倍になつて來るのである。私は算盤を稽古した事がある。昔の人は御承知の通り塵劫記と云ふものをのぞいたのを今でも記憶して居ります。昔の本には鼠算用と云ふのが書いてある。鼠と云ふものは動物學者に聞きますと、恐ろしい繁殖力の盛んなものである。鼠算用と云ふものがある。それは正月の初めに、鼠の雄と雌と二疋居る、それが正月の末に子供を十二疋生む、さうすると親子合



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せて二疋づゝで、次ぎには七組の夫婦が出來て來る。それが十二疋づゝ子を生むのである。すると二月の末にはナンボになるかは知らぬが、其分で以て一年の末になつたら何疋の鼠になるかと云ふのが、是が昔の算盤に書いてある鼠算用であります。アナタ方の中で、頭が好くて、暗算の上手な人があるならば、チヨツとやつて御覧なさい。正月の初めに雄と雌とがあつて十二疋の子を生んだ、二月の月には七組の夫婦が出來てそれが十二疋づゝ生んだ、其分で十二月まで進んだならば何疋になるか、勘定の好い人がありましたならばやつて御覧なさい。迚も當るものでないと見くびつても差支ないのであります。そこで私がそれを讀んで見ますると、正月の初めに二疋しかなかつたものが、十二月の末には二百七十六億八千二百五十七萬四千四百二疋となるのである。まさか斯う云ふ勢で繁殖せられては、ナンボ鼠でも堪つたものではありませぬからそれには、妨もあるでせうが、兎もあれ、私共人間のやる事は、時に依つては、最初始つた時は一人か二人であるが、それが總てに廣がつて行くと云ふことを考へて參りますれば、非常に大きなものになる場合がある例へば鼠算用にもなぞらへべきものが少なくない事を認めなければなりませぬ。

それ故に先刻お話もありましたが、一人の心得違ひの人が居りますると、其人一人に止まらない、子々孫々に及ぼすものである。遺傳と云ふか、感化と云ふものをたづねると、實に驚くべきものを發見するのであります。

## 此處に事實がある

英國に一人の曖昧屋の主婦が居つたのであります。今から八十五年前で千八百二十七年の事である。是が五十一歳で死んだ。其善くない女の系統を其後調べて見た處が、八百人だけ調べる事が出來た。其中三百人は一度以上監獄に這入つたものである。三百四十二人が大酒飲みであつた。百二十七人の女は醜業婦であつた、三十七人は謀殺犯で死刑に處せられたもので、英國が裁判費として此一家族の爲めに費はれた金高が六百萬圓であつた、紐育の監獄協會員のダツクテールと云ふ人が取調べたものに依ると、和蘭人のマース、チユークと云ふ人の身の上に就て斯う云ふ驚くべき事實がある。此人は千八百二十年、今から百九十年前に生れた人間で、酒飲みで怠惰者で、無教育で、不品行を



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やつて死んだのである。此系統千二百人に就て取調べた處が、三百十人は極貧の人間で、政府の費用で養はれた、三百人は營養不良其他の理由で夭死した、五十人の女は醜業婦になつた、四百人は放蕩の爲めに恥づべき病氣に罹つた、七人は人命犯をやつたもので、百三十人は懲役人であつた。善い方の例では、是は何處かの新聞に出たやうでありますが、有名な宗教家でジナサン、エドワードと云ふ人があつた、大學の總長をやつた人である。此人は亞米利加のコネクチカット州に生れた人でありますが、其人の血を引いた人間が千三百九十四人あつた。調べて見たら、一人も目立つた人間と云ふものは出て居ない。

是に反して

其子孫の中から大學の學長が十三人、教授になつた人が六十四人、醫者になつた人が六十人、教會の牧師が百人、軍人が七十五人、文學者が六十人、辯護士なり、判事なりが百八十人、官吏が八十人、上院の議員が三人、副大統領が一人、汽船會社長が一人、其外、知事、市長、代議士になつた人が數々あつたと云ふことであります、善でも惡でも、一人の致しまする事が後世の子々孫々の上に斯の如き影響を及ぼすものだと云ふことを知りますならば、私共の責任の重大なる事を感ぜざるを得ないのであります。故に私共は少なくとも善良なる人物善人と云ふ人格を自分に備へ之を後世に遺すことが出來たならば是程大に此世の中に貢献する所ある生涯と云ふ者は、外にない者であると思ふ私共は善人たる事に依つて他の何物たるよりも大なる貢献を此世の中に爲し得る者である事を知らなければならぬ。此意味から私は婦人矯風會の方々が、いろ〳〵の手段を以て盡されるだけの事をお盡しになると同時にそれよりも立優つて、それよりも先きに、自分が立派な人物となり生ける人格を透して、横に廣く同じ時代の人々に感化を及ぼし、縱に長く後世まで子孫を祝福せられんことを願ふのである、そしてそれには方法は他にない弱い人間が、自分は足りない、罪に穢れたものであると云ふことに心著いて、謙つて、自分に神を呼び、神に結ばれて神と一つなる生涯に入る時に、寢ても起きても出會す人を感化し、死んだ後までも尙ほ死なゝい祝福を遺すことが出來るのである



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 時事雜感

益富生

## 少女の信仰

美しい信仰ほど美しいものはない。殊に主が宣ひしやうに、嬰兒の如き信仰ほど美しいものはないのである。私の姪に當る今年十三才の少女が目下大患に罹つて、醫者も遂に匙を投げた、若し幸ひにして回復するとしても病の性質上生れもつかぬ不具者たるを免れない。取り分け、女の身にとりて最も不幸なる跛となるの運命である。彼女は小學校の成績もいつも優秀で、教師にも愛せられ、私共も大に望を囑して居た。而して小學校を出たら適當な學校を撰んで尙高等の教育をと望んで居た。然るに其希望も今や空と化して了つた。此世に屬ける側から云へば、これ程不幸はないのである。それから私共は親切に手紙をかいてなぐさめてやつた。而して泣いて悲しんで居るであらうと思ひの外左の如き晴れ〲しい、愉快な返事を受けた。私は實に、彼女の美しい信仰に感謝しました。因に申します、

おてがみをくださいまして、まことにありがとうございました、おぢ樣もおば樣もみな御ぶじでしよう。つぎに私はおぢ樣のおかげにて寺町におせはになつております、そうして又十月より足がはれだしましたから、みな樣より三十日の間、ろろごの聖マリヤ樣に祈つていたゞきましたから、そのおかげですこしはよくなりましたけれども、すぐにはれ又へりては、はれますから、どうしてもよくなることができません、けれども天主樣のおはからいですから、しかたがありません、けれども私は世のおはりまで天主樣につかへん事を心のそこよりふかくしんじておりますよ

又四月廿八日に洗禮をさづけてくださいました、そして五月五日には聖體もうけましたから、どうぞ私の病氣の事はけつして思つてはくださいますな。そのかわりに、しんろいのため外教人のため、てん國のれいこんのために祈つてよく〱天主樣につかへましよう。そうすると天主樣はかならず死んでからは、ほうびとして天國にあげてくださるにちがいありませんから

どうかみな〱天主樣につかへるようにいたしましよう

たいそう字がデキナイヨウニナリマシタ

カキタイ事ハヤマ〱アリマスガコレデトメマス

センレイノトキニツケタナハ

マリヤ、ヨゼフアトイヒマス　サヨナラ

五月二十四日

フミ子

伯父樣

伯母樣

## 貸座敷業者の反省すべき時機

先帝陛下の御重患、御崩御等で最も大なる影響を受けたものは遊廓である。其當時といふものは殆んど何れの花柳界も客足は絶へて、さしも賑はしい街も、全く火の消えたやう、實に寂しいものであつた。之は實に深く考へて見ねばならぬ事柄である。

思ふに先帝陛下の御聖徳の然らしむる處とは云ひながら、其御崩御の前後位、人心が眞面目になり、忠義の心が盛んに發露した事は慥かに稀有の事である。或は前古未曾有であつたかもしれぬ。而してこれ程國家のために欣ぶべき事はないのであつて、心ある人は必ず此高潮せる國民の忠誠が、縒を戻すやうな事のないやうにと注意して居ることである、即ち國民の心が常に斯の如くあらんことは特に教育家や、爲政家、經世家否國民一般が最も希望して已まない處である。

然るに玆に恐れ多い事には、此等の尊い望みに全然反對するの已むを得ない職業の人がある。彼等にとりては若しも日本人がいつ迄も眞面目な態度を持し、何時も忠義の心に滿ちて居てはそれこそ大變である。實に其時こそ彼等の商賣は沒落するより外はない。其は何であるか、いふ迄もなく娼妓商賣である。待合、貸座敷である。彼等の商賣は、自ら自身が眞面目なる心になり、陛下を敬ひ尊ぶ心が生じて來るとどうしてもやつていけぬ商賣である。又彼等の相手たるべき客なるものゝ心に、日本人に相應しき忠節心が生じて來ると、其こそ、一時もアンナ場所にじつとして居れなくなる。玆に於てか崩御前後の花柳界といふものは頗る寂しいものであつた。只東京だけではない、全國皆然りであつた。依つて知る、遊廓といふものは、尊王忠義の心が盛んにしては到底やつて行けぬ場所である。換言すれば、彼等の商賣を繁昌させやうとすれば、否繁昌させぬ迄も、其を續けて行かうとするには、人が眞面目になつたり、忠義心なんどが盛んになつてくれては困る商賣である。日本の男子がなるたけ不忠臣、不敬漢であつてくれねば困る商賣である。嗚呼世にも斯れ程情けない商賣といふものかあるであらうか。

殊に日本人として此程情けない商賣はないと思ふ。此處の道理をよく説く聞かして彼等をして一日も早く忠良なる臣民のふむべき道に引返すは、吾々の義務でなくてはならぬ。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女交際

## 羨しい西洋の男女交際

河村道子

男女交際、現今の日本の狀態では、中々むづかしい問題です、私のやうな經驗の少いものには、頓と方向もつかないやうな氣がします。西洋とは家庭や社會の事情も異つて居りますから、すぐ其儘を我々の間にあてはめると云ふのは、出來ないことでせうが、男女交際と云ふ時に私共がいつも羨ましく思ひますのは、あちらの人達の無邪氣な眞率な態度です、家庭そのものが、既に交際的に出來て居るのですから、娘でも息子でも、座ながらにして大勢の人を知る機會が多く、從つて自由に談話も遊戯もします。教會などへも平氣で連れ立つて行きますが、誰一人目を欹てるものもなく、又當人同士の間にも決して間違ひは起らないのであります。それを數多いうちには、下等社會の人々、無教育な人々の間には、折々忌はしいことも起るのでせうが、教育ある一般の家庭では殆ご絕無と云つてよい位であります。此點は確かにあちらの家庭の嚴肅を示すと共に、一人々々の教育が遍く行き渡つて居る結果であることが知られます。

これが日本であつたならどうでせう。若い男と女と連れ立つて步く、一緖に話したり遊んだりする。其の當人達は兎角、第一周圍の人がだまつて居りません。屹度厭な聯想をして、もう其事に定めてしまふ。何でもないことにも目引き袖引き、自分の卑しい低い心で凡てを勝手次第に忖度してしまふのです。こんなことは其の人の考への足りない、思想の低いことを表白するやうなもので、かう云ふ人達の目がさめない限りは、男女交際は一つの困難なる問題として存在しませう。（婦人の友）

文苑

## ○山より町へ

華子

○雲近き峰の頂天地に、心のまゝの我を覺えぬ。
○米あらふいさゝ川邊の朝な夕な、をとめごゝろを水にうつして。
○眞夏十日我に照る日のいみじくも、妙にもすゞし信濃路の里。
○さゝがにの蜘蛛のふるまひ眺めけり、待つ人も無き夏の夕庭。
○みどり濃き木の下陰に眞清水の、雪とくだくる碓氷の眞夏。
○いさゝ川投げて浮べし常夏に、運命うらなふ野路のつれ〴〵。

家庭の經濟

## 眞の儉約の仕方

女子商業學校學監 嘉悦孝子

### ▲易い樣で難かしい

人はよく儉約儉約と口に申しますが、實際易しい樣で難かしいものは「儉約」の二字であります。

儉約と云ふ事は一厘たりとも無駄な金錢を費はず、有用な事に金錢を活かして使ふので、これは誰も知つて居る解り切つた事ではありますけれど、扨て此解り切つた事が中々實行が難かしいのであります。

毎月の收入が此上十圓增せば、斯麽に生活向の心配はあるまいとか、



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十圓殖えれば何んなに安樂だらうとか申す人が御座いますけれど、扱斯る人がよし十圓二十圓增したとて、實際は矢張り苦しさに變りはないのであります。

收入が多ければ多いで、途考へもなく日常生活に不必要なものを求めたり、何の彼のと濫費が多くなるもので、却つて收入が少なかつた時よりも苦しむ樣になります。

假令收入は少くとも、主婦たるものが、萬事萬端注意し儉約を旨として、一生懸命に勤めましたならば、近々生計も樂になり、相當の貯金も出來るものであります。是等の事は家族一同其心にならなければなりませんが、殊に責任あるは主婦であります。

## ▲物を疎かにせぬ儉約の妙所

故谷子爵の御夫人は家政のことに就て殊に注意深い方で、主婦として丈ても龜鑑となる方でありました。聞く所に依りますと、夫人は大抵の人が心なく引裂いて屑籠に投入るゝ葡萄酒の瓶を包んだ紙をも無駄にさせず、女中にお云ひつけになり、一々引のばし何かの御用に供されたと云ふことであります。是れ僅の紙でありますが、萬事が此精神に富り、女中も此心得になりますならで其影響する所、誠に大なる事は云ふ迄もありますまい。

棚橋刀自は又一滴の水すら無駄に使ぬ樣にと敎へられて居るといふ事であります。これも亦谷子爵夫人の御用意と同じことであつて些細の事に不注意な者はやはり大きい事にも注意しませぬ。若し一滴の水さへ無駄にせぬ心掛あらば、家政は慥に立派にもつて行かれませう。

又棚橋刀自は每朝竈に使用する薪も使ひ樣に依ては三本で充分御飯が炊けますが不注意な者は五本もなければならぬ、と申されてありますが、此邊が儉約の妙所でありませう、其はいづれにしても一家の主婦たるものは、よく自己の頭を働かせ、且つ充分なる研究を遂げなくてはなりませぬ。

## ▲衣服の選び方

昨の古今を問はず國の東西を論せず、婦人は衣服を生命の樣に大切に致しますが、其調製や整理をする事に依て其一家其婦人の狀態がよく判ります。抑も衣服の目的は云ふ迄もなく體溫を整へ、品格を保つ爲めでありますから、此目的を達する爲に地質縞柄其他に就て考へればなりません、然るに何の考へもなく徒らに流行を追ひ、自分の位置も職分も考へず無暗と調製するなど實に心なき業であります。又婦人に依ては何の場合、彼の折と其時其折に依て必要だとして衣服を調へますが、其爲に一家の財政に影響する事どれ程でありませう。

私は衣服は體溫を調へ、品位を保ち、禮を欠かさぬ以上出來得るだけ流用の出來るやう致したいものであると思ひます。例へば一枚の襦袢は紋付の下にも着られれば、縞物の下にも用ゐられるといふ樣にするとで有ます。此邊が儉約といふのでありませう。

## ▲勤儉貯蓄は一種の道德

「塵も積れば山となる」とは誰でも知つて居る諺であります、これは利益、損害、兩方に用ゐらるゝ言葉であります。例へば一厘の損失もやがて多額の損失となり、之に反し一毛の利も又遂に多くの利となるのでありますから、日常仔細に注意して一毛の微と雖もおろそかにせぬやうに致さればなりませぬ。嘗て小崎夫人が新聞の古や、紙屑を賣つた代で正月の餅を搗いたといふ話をされました。又或處の老婆は紙屑買をして七拾貳圓の貯金をしたといふことであります。一般に一圓以上の支出には注意を拂ふが一錢二錢の支出には平氣で居る何とも思はぬ。これやがて莫大な損失を一家に來すものであります、（婦人畫報）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 過去の一年間（承前）

萬國婦人矯風會本部派出員　ルース、エフ、デビス

## ▲ドレスデンの博覽會

オランダの都ヘーグを去りまして日本への歸途、獨逸の二大都府ベルリンとドレスデンに寄りました。その理由はドレスデン市には名畫工ラフエルの手に作れる世界最大の畫と知られて居りまするシテーシ聖母マリヤの繪を見に參つたのでありましたが、丁度其時ドレスデン市に萬國衛生大博覽會が開かれて居りました故早速會場に參りました。その規模の大なるのと、萬事完備して居つたのには驚きました。日本館は例によりまして美術的な建築で、館内には衛生に關する書籍、機械をはじめ、食料品、藥品、織物、衣服の調度までも立派に出揃づて觀る人の眼を引き付けて居りましたが、中に赤十字社看護婦が負傷軍人を勞はつて居る樣の日本の人形を見ました時は、ホーム懷しの念に打たれて思はず生たる人に物言ふ如く、人形に挨拶を致しました。この博覽會場中尤も注目致した一大館内には全部酒精と人體の關係を明瞭に示す爲に、巧妙なる又緻密なる標本を以て、如何に酒精が體内の機關を害するかの光景を示し居りました。元來獨逸はビール釀造國として世界に名高くありましたが近來に至り、國王は先進して學生、軍人、實業家に對し、頻りに酒精の害を警告して居られます、實に世界萬國一般に酒精害毒を眞面目に研究する樣になりました事は蔽ふことの出來ない現象であります。

## ▲北米合衆國に於ける矯風會の運動

昨年秋メン洲の會員が千辛萬苦を排して遂に大勝利を得ました結果、彼の地は酒精禁賣洲となったのでございます。米國婦人矯風會は漸次全合衆國の各洲各版圖を悉く酒精禁賣の土地となさうと確信を以て運動を進めて居ります。昨年即ち一千九百十一年十二月四日に合衆國ワシントン府下院に於て酒精に關する決議文を發示されました

「科學上の研究の結果酒精は毒劇にして、人體の機關を侵毒し、又一國の經濟を濫して國民の負擔を重からしめ、人の理性と道德性を鈍らし、爲めに社會一般の道德心を腐敗せしむ。その害毒を及ぼす區域も亦甚だ廣く、酒精中毒患は獨り自分に害を受くるのみならず、子孫をも害するものなれば、酒精問題は實に一國の問題にして區々たる問題にあらず」

實際合衆國にては宗教家は何れの教派に屬するに係らず、又政治家、教育家、實業家凡そ國を憂ふる人士は擧て今日酒精問題を研究いたし、其結果は是非とも此恐るべき人類の强敵を全滅せねばならぬと決心して居るのであります。斯く外國に於ける禁酒運動を申し上る理由は、私共矯風會々員は孤城を固守する兵士ではなく、同志の士は世界何れの國にもあることを申上て御互に力と致したいからであります。

## ▲朝鮮地方遊歷

内地へ戻ります前一ヶ月間朝鮮地方に遊歷致しました、此地方の運動は渡邊常子姉の御活動の部に屬しますが同姉の御熱心なる御盡力により まして豫想外の好結果を見ました、兩人にて訪問致しました處は京



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

城、仁山、平壌、チナンポー、大邱、釜山で集會の度數は二十八回でございました。幸に藤田軍醫總監の御親切で看護婦會に出席いたし一場の御話を致すことも出來ました、其外瓦斯會社、電氣會社々員又平壌愛國婦人會の方々にも矯風會なるものを紹介致しました。鎭南浦では大雪に逢ひ渡邊姉と御一所に不慣の寒氣に困難致した事もありましたが此地にては大成功を致し婦人矯風會の創立、男子側にては禁酒會も起り又西洋人間にも婦人矯風會が出來ました。

朝鮮を辭しまして渡邊姉は神戸に、私は長崎へ參り二週間滯在致し公立官立の學校にて矯風演説を致したり婦人會にも出席致しました。

▲懸賞文章募集

博文館發行の中學世界の紹介により全國の中學校（公私の差別又宗派の如何を不問）生徒に、絶對禁酒、平和、動物愛護の三問題で懸賞文章を廣く募集致しました。此の計畫は大に日本青年間に矯風會の主義を鼓吹致した事と存じます。

▲在日本外國婦人矯風會

本年度は隨分發展いたし會員も增加いたしまして、毎月第二土曜日の例會も盛であります。申上ろ迄もなく西洋矯風會は日本矯風會の補欠部とも云ふべき集會で萬事に日本矯風會との打合せか緊要でございます私は兩方の間に立ちまして相互の意志の疏通を計つて相當の御役目を仕遂げたい希望であります。

▲少年禁酒軍の發展

之は偏に守屋姉の御熱心、御忠實、御手腕のなすところと同姉に深謝いたします。少年新報毎月の發刊數は一萬六百枚で之も杉本姉、守屋姉メラー姉の御力に歸するのであります。

▲輕井澤に開催の矯風會

昨年の夏期輕井澤に開きました西洋人矯風會の大會も大成功でございましたが、本年は尙一層の成功を望み、島田代議士の御演説を願ふ事にて、君は平和會に一度、廓清會に一度御演説下さることでありますから、この催は大に內外人として社會矯風事業に興味を感ぜしめますことゝ存じます。

（此の計畫は先帝陛下御不例に際したれば御遠慮申上ました）

最後の希望は來年度には本部に事務所を建築致し度切に祈つて居ります。

# 本部の一年間

通信書記　高原かう

▲グ氏の渡來

昨夏萬國廢娼同盟會英國支部より矢島會頭、山室大佐補、ゴーツフ博士の三氏に宛で來信あり日本に於て派遣員の必要あらば早速適當の人を送るべき者申越されしより三氏御協議の上何れの會よりとも定めず兎に角其方をむかへんと返電せられし結果明治四十四年十月九日グリゴリー氏は新橋に着されたり。

▲グ氏歡迎會

程なく早稻田伯邸に於てグリゴリー氏の歡迎會を開き、內外淑女紳士の盛なる會合にて、伯爵の歡迎の辭グ氏の演説あり、この日矢島會頭は日人婦人矯風會を代表して歡迎の辭に併せて吉原遊廓につき廢止運動の概略を記してグ氏に呈せらる、グ氏は非常にこの狀を喜びて朝夕に閱讀せられしと云ふ。

▲廢娼演説會

爾來青年會館に、東京學院に、三田教會に同氏を中心としたる廓清會主催にかゝる公開演説會あり、矯風會本部



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は之が援助として青年男女にこの主義を鼓吹せり。

▲デビス、渡邊兩女史の歸朝　十二月中旬渡邊姉は神戸にデビス孃は東京に無事着せらる。同孃御兩親よりの傳言にて本部事務所建築の議案起りぬ。

▲事務建築に就き　作夏三支部諸姉の御發議により本部事務所設立のため基金を募集中なりし際に前述のデビス孃の御好意もあれば委員を設けて一任したり。

▲朝鮮有志の方に禮狀　渡邊姉よりの通信に基き在朝鮮有志の方にて兩女史を援助せられし兄姉に矢島會頭より感謝狀を送れり。

▲大阪難波新地火災　四十五年一月中旬同地の火災に際し本部よりは矢島會頭老軀を厭はず守屋婦同伴にて盡力せらる、この際大阪にては非常なる運動の結果遊廓廢止のめで度府令に接せられたり。大阪に於ける廓清會設立の起原は實にこの際に胚胎し、グ氏、山室氏、益富氏招聘せられて遂に廓清會大阪支部の發會式を舉ぐるに至り、現に千有餘名の會員ありとは成功も甚しと云ふべし。

▲デビス孃の歡迎會　一月三十日禁酒會と合併して銀座教會に盛なる歡迎會を開く。來會者約四百名。

▲洲崎災と廓清會運動　吉原大火以來將に一週年に垂んとする三月廿一日洲崎遊廓は火を發し、廓清會は之がために諸所に演說會を催し、矯風會員之を補助せり。

▲グ氏の出立　二月下旬グ氏のために送別會は廓清會主催となりて青年會館に開かれ晚餐後一同撮影せり、斯くて同氏は三月一日オーストラリアに向つて日本を後に殘さる、矢島會頭よりオーストラリア矯風會に宛同氏の功勞を彰し併せて紹介の狀をデビス姉の英譯のを煩はして御手許に供したり。

▲本多先生の永眠　長崎へ御出張中なりし本多先生は俄然御發病途に御永眠遊ばされ四月三日新橋に御遺骸を迎ふ、同六日青山學院式場へは總代として會頭より弔辭を贈呈し、有志者より弔意を表して金若干を小崎姉の手を經て夫人に送らる。

▲觀光團に警告　四月中旬「觀光團の吉原見物云々」の記事につき、將來を戒むるためハワイに向けミステビスの英譯文を添へ矢島會頭より一書を呈せり。

▲宇都宮の廢娼運動　フライ夫人よりの招聘に應じ矢島會頭は益富氏及高原同伴同市の新聞記者に種々研究の材料を供し輿論を高むる必用を述べ、同市知事夫人にも面會の上廢娼問題につき同情を求めらる。尙益富氏はクリスチャン女學校にて勸話せられ同市の牧師方にも廓清會につき御相談ありたり。

▲サッチャー夫人渡米　同夫人御來朝との通知に接したるより長崎を始め沿道附近の各支部に通信して同夫人を歡迎せらるゝ樣依賴す。夫人は旅程の變更により急にホテルに着、同夜會頭代理として、安福、高原兩人ホテルに至りて懇談せり。

▲サ夫人の歡迎會　ボールス氏宅に開き內外國人四百名餘來會せり、同夫人は矢島會頭渡米の折、米國旗を送られし好意に因み、會頭は日本の國旗を新製して同夫人の土產となしぬ。

▲同夫人の活動及送別　爾來各所の滿說會に臨まれ、訪問を受られ、種々の方面に於て矯風會を廣く世人に紹介せられたり。御歸途の際は常置員一同より同夫人の來朝を感謝すると共に御送別の辭を送らんがため杉本姉の英譯を煩したり。

▲大會準備　島田先生、安部先生、山室先生は御演說を快諾せられ案內狀二百餘通を發送し、其他順序書、諸掛員等につき常置員會を開



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きたり。

▲喜の音信　東京早稲田教會内に、牛込支部の新設を得たるは渡邊神戸支部長藤本こま子、三井夫人ちか子諸姉の御骨折によれり。神戸には女子家庭塾の設立あり。昨年陸中水澤池田旅館主人の正業に就きたりし事。熊本にては瀧本姉の御勞力によりて漸次活氣を添へ來りし事。佐賀支部にては盛大なる禁酒會の設立を見たる事。金澤にてもまた長崎にてもはた、靜岡にても漸次向上の途にあらるゝ事を感謝して止まざるなり。

▲備考　一ヶ年間内外通信數一千五十通。支部數四十八所。青年部十九。

▲大會中寄贈品　派出看護法心得　百二十册　大關ちか子姉

「廓清」　百册　廓清會本部

右は代員諸姉並びに會員諸姉に寄贈せられしものなり。

# 各課の一年間

## ▲風俗課

課長　名出昱子

此の一ヶ年公娼廢止の爲め會員各力を盡し、諸支部に於ても廓清會の支部を設立し、專ら社會の輿論を高めつゝあり、殊に大阪に於ては遊廓の大火を機として大運動をなしつゝあり、來年度に於ても猶一層會員の熱禱と努力とを以て一日も早く人道問題の解決を見ん事を希望に不堪、又各支部に於ける風俗課長に「廓清」を送り支部設立を奬勵せり。

靜岡にては城のぶ子姉風俗課長たり公開演説を開き、又リフレット小冊子千八百を公衆殊に青年の勞働者に分與し、廓清會の支部を設立し、その他三四の新聞記者に本課の主義を鼓吹し輿論を喚起せられん事につとめ居らるゝ由。

大阪婦人矯風會に於ける本課の事業は實に成功を告げ、廓清會員遂に千人に達し贊助員百〇八、正會員九百名を得られたり。

岡山に於ても本課の設あり常に風俗矯正を唱道せらる神戸に於てはグリゴリー氏を招聘して演説會を催し廓清事業につき青年男女に多大の感動を與へられ頗る盛會なりし由。

## ▲交際課

淺井泰

今年は少しなりとも活動致さんと、まづ我が住居する土地に於て會員以外の婦人を招待し、本會の趣旨を擴張せんとの計畫をなし、第一回は大阪よりの應援を得て開會の運に至りしも之を繼續すること能はざりしは遺憾の至りなり。

京都支部交際課にては重に外來の觀光客を接待せられし由、岡山支部の交際課にては女中慰藉會及び禁酒のため青年を招待して演説及び茶話會を開かれし由なり、堺支部にては互に親睦をつとめ會員の交誼をますます厚くせり。

## ▲救濟課

課長　島田信

本一ヶ年間に於ては別段救濟課として報告すべき働及特に記すべき問題もなく、只風俗課事業たる廢娼演説會及それに伴ひて引續き起れる廓清會の御手傳に過ぎず。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本課事業の一部たる大久保村慈愛館の事業報告左の如し。

一、從來慈愛館の館長たりしミセス、マコーレは辭任せられ、ミスペンロット及ミス、ミントル之に代らる。

一、四十四年七月より四十五年六月迄の間に新に收容せし生徒は拾名にして年齡は最低七歳より最高三十七歳なり。

收容せし生徒の境遇を見るに、親を失ひたる娘及品行修まらざる者、一ヶ年間に於て在館生徒中堅氣の家庭に雇はれし者二名、親許にて引取り眞面目の生涯を送るもの一名。

現在生徒二十名は館長指揮の下に精神の修養及び裁縫編物等の業を受けつゝあり。この慈愛館會計は毎年前半期は外國人側會計之を司どり、後半期は日本人側會計之を取扱ふ(會計は略す)

大阪婦人ホーム林依子姉の報告によれば總計五百十六名を收容し、現在奉公に出居るもの多數を占め他は國許へ歸せし者、寄宿をなし居るもの等なりと云ふ。

## ▲工女課

バンフハインド

代理　守屋東

顧みれば私が工女課々長の重い任を御引受致してから一年になりますが、只今何等顯著なる御報告を致す事が出來ないのを殘念に存じます。

工女課の設ある所は、松山市、松山同情館。甲府市、山梨婦人矯風會本部所屬、愛隣女塾にて報告を得ましたのは山梨婦人矯風會のみ。同會は八ヶ所の工場に傳道、矯風會の主義普及に勤められ、尙五ヶ所に於ては一定の日を期して集會を開き名士を招きて工女等に有益なる勸話をなし工女課としては好果を納めつゝあり。

愛隣女塾　同塾はさきに前の工女課々長白井氏統轄のもとに愛隣社と稱して、殆んど十年に近き間專心御盡力せられし結果、事業の見るべきもの日を追ふて顯はれしも、不幸同姉家庭の御都合にて御辭任せられしを以て、玆に私が其任を繼く事になりまして、小崎姉を會計に仰ぎ、三浦牧師御夫妻の非常なる御盡力によりて白井姉の後をつぎ、愛隣女塾と改名して三田四國町メソヂスト教會に於て工女課の事業を開始し、諸姉の深厚なる御同情によつて追々盛大に赴きつゝありしも三浦氏御轉任のため、常議員一同も大に苦心せしが、神は尤も適當なる橋本氏一家族を送りてこの事業を再び三田にトして繼續する事を得しため本課の働も着々と運ぶ事を得たり。

同塾會計の概略は

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 收入 | 拾圓 | 維持費 | 二圓 | 生徒月謝 |
| 支出 | 五圓 | 教師へ禮 | 七圓 | 電燈其他 |
| | 十二圓 | 家賃半額(之は寄附)。 | | |

課長個人としては向島紡績會社、氷川下帽子會社、氷川夜學校、御殿町夜學校のために盡力しつゝあり。

## ▲衛生課

課長　大關ちか

大病後兎角不勝なれど漸く四五十名の會員を左右し、病者の看護を司らしめ、同時に衛生の重んずべき事を普及し、救世軍婦人會及び母の會等に於て衛生講話をなせし事三四回。

昨年十一月日本看護婦協會東京組合會々長に推さる、今年二月看護婦免狀全國共通の件に就き内務大臣に陳情し、同時に看護婦取締規則改



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

正の件を東京府知事に請願す。

来る九月より看護婦講習所を開設するの運に至り吉岡女醫學校より講師の來援を約し、所々修身講話をなし精神的修養を進むる事となせり

四十一年發行の實地看護法は毎年八百部完賣し本年は四版となり、各病院、看護婦の參考書或は家庭の友として不少なる同胞の枕頭にあり

昨年社團法人白十字會の設立せらるゝや、其主義を賛し正會員となり、會員及賛助員を紹介せし事六十餘名。各支部よりは福岡に本課の設ありとの報に接したるのみ。

## ▲教育課

渡邊常

神戸婦人矯風會の一事業として女子家庭塾創設のために慈善市或は音樂會を開催し、遂にこの事業を起すに至りしが始めとして明治四十四年八月より九月十日に至りて約三四回の集會に出席講話す、殊に湊東區教育會第十六回講演會の如きは頗る盛會にて視學官、署長、學校長等約六百有餘名の[illegible]來ありたり。

十月より十二月に至る四十日間は日本婦人矯風會及婦人傳道會を代表して萬國婦人矯風會特派員デビス孃と朝鮮に於て京城に十三回、仁川にて二回、鎮南浦二回、大邱に三回、釜山にて二回、合計三十二回の勸話をなせり。

歸朝後神戸教會日曜學校に於て朝鮮旅行談を試み、新年より六月に至るの間、或は大阪に京都に堺に伊豫に於ける集會に出席勸話し或は林大阪支部長を聘して集を開きグリゴレー氏を招待して戦禍演說會を催し、殊に女子家庭塾創設のために新年會、慈善會。その他久留島武彦氏を招待して子供本位の慈善音樂會を開き。サッチャー夫人の御來朝に就而は歡迎及送別會をなし。女子青年部と聯合にて安藤太郎氏を招待し禁酒會を開きし等合計二十回の集會に出席努力す(委細は通信書記の許にあり)

本課の設けあるは靜岡、金澤、京都、大阪、神戸等にして京都に於ては幼年生理讀本を配布せし由。神戸にては學校教職員を訪問し、經濟、婦人新報、及少年新報を配布し本年は女子家庭塾の維持費として賛助員を募集せり。

少年部長守屋東子姉は神奈川縣津久井郡内郷青年會及婦人會小學校等の聯合大會に出席せられ禁酒につきて講話の結果は非常に有効なりしと。同姉は下谷區萬年小學校に又甲州に於ける八個所の幼稚園及小學校に於て禁酒の必要を說かれ好結果を得られしとの事。

副課長阿部つる子姉は在京中學生の懇親演說會を開かれ守屋姉、及帝大法科生吉植君は之がために熱心に阿部姉を援助せられ禁酒禁煙につきて公開したる會合を見たるは嘗てなき事なりしと。この會につきての費用はデビス孃悉く寄附せられし由。(委細略す書記)

## ▲花の課

課長 城戸順

過る年花の課々長の命を受けしよりはや一年となりましたが、敢て自身に致せし花々敷仕事もなく又之と申して支部の方々に參考を供へし事もございませんのに、皆様は此の課のため御活動遊しますことを感謝致して居ります。課長としての働きは各支部に花の記念日を守らるゝやう奨勵すると同時に横濱支部花の課の補助を受け、同市十全病院、野毛病院、萬治病院其他二ケ所へ草花にカードをつけて贈る其數百六十。各支部の働きは左の如し。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

| 支部名稱 | 課長姓名 | 配布せし花束の數 | 配布せし鉢植の數 | 配布せし聖句カードの數 | 配布せし本課用小冊子の數 | 訪問せし病人貧民其他の數 | 訪問せし病院孤兒院養育院の數 | 寄贈せし食品の數と種類 | 貧民に贈與せし衣服の數 | 病人に贈與せし書籍の數 | 本課用として庭園に草花を培養するもの | 其他の寄贈品 | 花の紀念日を守りしや否や |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大阪 | 諸方吉貫子 | 八七 | 四 | 二五三 | 三六八 | 九〇 | 七 | 六〇〇 | 二九 | | | | 守りたり |
| 山梨 | 伊藤千代子 | 四 | 一〇 | | | 二 | | 一三 | 一〇 | | | | 同 |
| 市ヶ谷 | リオツク | 一五〇 | 一〇〇 | 七〇〇 | | 數度 | 數度 | | | | | | |
| 熊本 | 大島咲子 | 一〇〇 | | 一〇〇 | 一〇 | | 一五 | | | 四一〇 | | | 守りたり |
| 横濱 | 大橋繁子 | 二 | 七〇 | 七〇 | 七〇 | | | | | | | | 同 |
| 山梨青年 | 田中やりじ子 | 二五〇 | 三 | 二八〇 | | 二九〇 | | 米一俵 野菜等 | 衣服一 ふとん六 | | | 書籍 | 同 |
| 高崎 | ナシ | | 三 | 三 | | | | 一一 | 二 | | | | 同 |
| 小石川城北 | 戸川秀子 | 一〇 | 五六 | | (貧民學校二ヶ所へ毎月二回各教室に花をかざり又病院二ヶ所へ各月一回訪問して花束を贈る) | | | | | | | | |
| 京都 | 淵ノ内米子 | 一五五 | 一三 | 一四六 | | 一六六 | 二 | | | | 一切の花は花園より | | |
| 神戸 | 小磯みと子 | 三〇〇 | | | | 三〇 | | | | | | | |
| 小石川青年 | 安村てい子 | 五〇 | 一三 | 五〇 | | 一五 | 三 | | | | 會員五人費を負ふ | | 守りたり |
| 麻布女學校青年 | 生尾もと子 | 二五〇 | 三五 | 五〇〇 | 三六九 | | | | | | | | 同 |
| 靜岡 | 横田せん子 | 一〇 | 二 | 三 | 三〇 | | | | | | | | 同 |
| 水戸青年 | 柳澤愛子 | 六 | 一 | 二 | | | | | | | | | |
| 大阪堺 | 黒田りよ子 | | | | | 一〇 | | | | | | | |
| 岡山 | 小野宗壽子 | 四〇 | | | 二〇〇 | | 二 | | | | | | |
| 少年禁酒軍 | 守屋京子 | (同軍にて出張の設けあるは六ヶ所にして小供等は花を束にして病院、教會、病床を訪づれ又自ら造りし花に中紙を添えて飲酒家に贈る等愛らしき働をなせり) | | | | | | | | | | | |

# ▲青年部

青年部長　ガントレット恒子

| 會の名稱 | 設立年月 | 現在會員 | 新入會員 | 名譽會員 | 設けある課 | 例會數 | 臨時會數 | 收入金額 | 支出金額 | 配布せし書數 | 婦人新報購讀數 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 遺愛女學校青年 | 明治三十年 | 三八 | 七 | | 花の課 | | | | | | |
| 北陸女學校ウエスト青年 | 明治卅一年六月 | 八 | 二 | | 花の課 | 一〇 | 二 | 二、一〇〇円 | 二、一〇〇円 | | 一 |
| 弘前女學校青年 | 卅七年一月廿五日 | 四三 | 一六 | | | 八 | 四 | 三、四〇〇 | | | |
| 聖經女學校青年 | 四十三年六月卅日 | 三〇 | 一〇 | | | 六 | | 三、三〇〇 | 三、八〇〇 | | |
| 山梨英和女學校青年 | 卅三年四月 | 六〇 | 二〇 | 一五 | 花の課　風俗課　懸賞文學課 | 一〇 | 四 | 一六、八〇〇 | 二四、〇〇〇 | 八〇〇 | 三六 |
| フレンド女學校青年 | 卅六年一月 | 三三 | 八 | 一〇 | 花の課　文學課　少年課　安息課　勸誘課 | 九 | 四 | 一三、六九五 | 一三、一七〇 | | 三 |
| 宮崎青年 | 四十一年五月 | 休會 | | | | | | | | | |
| 同志社女學校青年 | 四十二年五月十日 | 三三 | 二 | | 花の課 | 六 | | 五、五〇〇 | 、八五〇 | | 一 |
| 東洋英和女學校青年 | 卅三年十月十七日 | 一〇三 | 八 | 三 | 花課　風俗課　勸誘課　少年課　花の課　懸賞 | 八 | 五 | 五五、一六〇 | 四四、一九〇 | 二、八〇〇 | 六 |
| 神戸女學校ウヰラード青年 | | 三七 | 一四 | | 文學課　議事法課 | 一〇 | 一 | 一七、三四〇 | 一九、三五〇 | | |
| 小石川青年 | | 三六 | 四 | | 花の課　動物優待課　風俗課 | 一〇 | 二 | 一一、七四〇 | 三四、三七〇 | | 三 |
| 金城女學校パリシユ青年 | | 一年に貳同禁酒文學會を開催すとの報告ありしのみ | | | | | | | | | |
| 女子聖學院青年 | 四十三年 | 報告すべき事項なしとの回答ありし | | | | | | | | | |
| 福岡英和女學校青年 | | 七 | | | | | | 、七〇〇 | 、七〇〇 | | |
| 松山女學校青年 | 報告なし | | | | | | | | | | |
| 仙臺自助館青年 | 同上 | | | | | | | | | | |
| 女子同情館青年 | 同上 | | | | | | | | | | |
| 橫濱英和女學校青年 | 同上 | | | | | | | | | | |
| 水戸青年 | 四十四年五月新設 | 三八 | | | 花の課 | 二 | | | | | |
| 總計 | 一九 | 四〇七 | 一〇一 | 二八 | | 七九 | 二二 | 一四〇、〇六五 | 一四〇、八四〇 | 三、六〇〇 | 五〇 |



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## ▲青年部

（部長個人報告）　ガンドレット恒子

▲講演　講演は二十一回にして内矯風會十三回、母の會二回、公會二回、青年矯風會四回なり。

▲通信　通信は發信五十通、受信四十二通。

▲會計　會計に於ては收入五拾圓六拾八錢、支出貳拾六圓六拾九錢也。之を内譯にすれば、金壹圓四拾錢郵税、金貳拾錢電報、金四圓拾錢集會費用、金拾貳圓九拾四錢旅費車代、金八圓副部長運動費、差引殘金貳拾參圓六拾九錢也とす。

## 本部書記手當決算報告

（自四十四年七月　至四十五年六月）

富永のぶ子

### 收入

一金參百四拾九圓參拾參錢五厘

内譯

| | |
|---|---|
| 一金拾八圓九拾貳錢 | 東洋英和女學校 |
| 一金貳拾八圓 | 京都婦人矯風會 |
| 一金六圓 | 赤坂支部 |
| 一金拾八圓 | 麹町婦人矯風會 |
| 一金七圓四拾八錢 | 芝同 |
| 一金參圓 | 小石川青年部 |
| 一金六圓七拾錢 | 神戸女學院 |
| 一金壹圓五拾錢 | 盛岡婦人矯風會 |
| 一金八圓五拾貳錢 | 相州同 |
| 一金貳圓 | 前橋同 |
| 一金六圓 | 横濱同 |
| 一金參圓 | 堺婦人矯風會 |
| 一金七拾貳錢 | 大阪同 |
| 一金參拾圓 | 神戸同 |
| 一金貳圓四拾錢 | 山口同 |
| 一金壹圓 | 原市同 |
| 一金六拾錢 | 名古屋同 |
| 一金壹圓 | 佐賀同 |
| 一金九圓九拾錢 | 靜岡同 |
| 一金貳圓參拾貳錢 | フレンド女學校 |
| 一金壹圓貳拾錢 | 甲府婦人矯風會 |
| 一金參圓 | 吳同 |
| 一金參拾錢 | 宇都宮同 |
| 一金壹圓五拾錢 | 高崎同 |
| 一金參圓 | 旭川同 |
| 一金四拾五圓四拾九錢五厘 | 前年度繰越 |
| 一金六拾六圓五拾錢 | 本部より借入 |

### 支出

一金參百參圓貳拾五錢

内譯

| | |
|---|---|
| 一金參百圓 | 書記手當一ヶ年分 |
| 一金參圓貳拾五錢 | 通信費并雜費 |

差引殘金四拾六圓〇八錢五厘

## 第二十回大會雜感

城のぶ

○本年も靜岡支部の姉妹連の代員として大會に出席するの光榮を荷ふた。年々内容が進歩して來た事を喜ぶので他の會にて見られぬ一種興味を覺ゆるのは眞に床しい。

○如何にキリストを中心として結合されて居る會の温かさよ、百の主義者一堂に和氣靄々たる樣は、どうしても舊知の友としか思はれぬ。實に頼母しい嬉敷會合ではないか。

○未だ日本婦人に練習を要することは、選擧法である昨年も注意をしたが終に新報を煩はした。今年も亦一言云はねばならぬ。選擧する一瞬間は尤も嚴にして神聖を保ち各自の權利を尊重し、此の同師弟や親子の情實から離れ、公明正大に自分の權利を擁護せねばならぬ、此の問題に付ては何れの支部でも大に學び研究を要する事件と思ふのである。

○各地の活動の模樣其方法　運動の狀況苦心成功の實驗等聞きたい事は何れも同感であらう、然し大會は日時に限がある、又執行順序も定まつてあるが故に思ふ事を新報に腹藏なく吐露して意見の交換をしたいのが自分の希望である。

○婦人新報は我が國に於ける矯風主義の機關として唯一の雜誌である、其局に當らるゝ記者の苦心は、如何にして讀者に滿足を與へんかにあらん。我等は多大の同情を持ち互に助けねばならぬ、新報をして益内容を豐富に且つ之れが健全なる發達を計り、其使命を果さしむるはお互の責任である、新報は各支部の共有物である、ツマリお互のものである以上は出來得る丈けの援助を惜ます、成功せしめねばならぬ。此の事業を愛し主義の上に立つて居る姉妹は、新報をも愛する義務がある、然らば如何にして新報の爲めに盡すか。購讀者を募集するも可、或る物を節約して寄附さるゝも可、寄書さるゝも可、忠言を寄さるゝも可、記者は歡んで我等の微意を容れらるゝことを信ずればなり。

○矯風魂　苟も社會の風紀頽廢を救ひ、堅實なる道德思想を作らんとして起ちたる同主義、我が黨の姉妹、一の堅き清き美風所謂矯風魂を作つて貰いたい、夫れには意志の練訓をも要す、堅忍なる信仰、圓熟したる愛心も大切である、乍併今日の如き奢侈虛榮の空氣に充ちたる中に超然質素、儉約の美德を養ひ、內顧の憂なからしむるのみならず一層キリストにありて修養されたる品德益々高く敬慕の念自ら人をして靡かしめ、德よく衆を化する迄に進みたきもので、之れ矯風魂の外に發揮したる修養の果ではないか。

○自分が大會から歸て來たら恰も盂蘭盆會で市中は中元の贈物で主婦は時と勢と頭を費やして居た。これも舊き習慣であるから矯風會員先づ此弊風を破り虛禮を廢して貰い度い、特別に世話になつた場合は兎に角、貰ふから又返禮す、贈るから受けるとは只一の虛禮に過ぎぬ。主婦が內にあつて闘ふべき改善すべき場合亦多いかな。

○青年に說く　丁度十五日(七月)の事であつた、數人の青年がやつて來た、今日は地藏の施餓鬼をするから金を出せと云ふ。自分は其集つた金で足下等は酒を呑み遊ぶのであらう、この恐ろしき酒の害毒から一人にても救いたいのが自分の主義であるに飮むことを知つて其ために出す金は一錢もない。若しも町內の敎育とか、衞生とか、道普請とか貧民救助のためならば、此の町內の利益幸福のためには喜んで先きに寄附をするからと懇ろに說いた。彼等は默して歸つた、主婦の外部に向つて土地の風習と戰ふ場合も度々ある。

○終りに本部及び東京各支部東洋英和女學校の姉妹方の熱誠なる歡迎、歡待、懇切到らざるなきには茲に謹んで感謝の意を表するものなり。願くば大能慈愛の父なる神の御旨の地上に臨らん爲めに愛する姉妹の上に御祝福を祈る。

○小妹は滿三年間靜岡支部より諸姉に相見え居候處、今回を以て最後と存じ候何れ新任地神戸より時々新報にて相見えん事を願ひ候。今日迄諸姉より受けし御厚志御禮申上候

# をとづれ

○靜岡婦人矯風會

過同來朝されし本部軍人課長サッチャー夫人當地へ立寄らる丶との通知に接せし爲め、五月二日公開講演會を開き、軍人方の夫人を招き同夫人の尊とき事業の一般をも伺ひ、奨勵を受んものと會員一同準備に取掛りたりしに、當日に至り同夫人は止みがたき事故生じ急遽旅程を變更、出發されし爲め、同夜は波多野牧師「矯風の精神」と題し、熱心に我等の意を說かれたり、殊にヅランスパールに傳道し居られし某夫人當地ホテルに滯在し居られしを乞ひて一場の旅行談を試みられ、終りに英和女學校長ミス、テンパレークの獨唱ありて閉會。事の行違ひより四百餘に達せし招待者に一々詫び、眞の同情者會員等集まるもの五十名なりし。

六月八日、山宗會長の宅にて例會を開く、同姉不例のため、綾部姉司會され、數姉の實驗談あり、殊に松島姉の禁煙苦心談は感興を起したり。五月號婦人新報に掲載ありしルイス氏の母公の如き苦き悲しき家庭の我が同胞の中に幾多あるを知らず、されど信念ある同母公の氣高さ懐かし。進んで此の事業の爲め隱れたる處にありて愛の仕事をなすと共に日本婦人の美貞を損せざる限り外部へ向つて戰端を開くの急務を切實に感じたりと述べし姉妹あり、今秋市内を四區に分ち各方面の會員の助力を得て中以下の家庭に入り、衛生、教育、風俗、宗教、禁酒等各手分けをなし働かん事を議せり、其方法等役員會に於て定むることゝなしぬ。

六月九日、花の課紀念日を守り、課長横田仙子老姉と城姉は傳道者として花束を持ち、リーフレット、聖句カードを挾み、病院病家を慰問し、祈禱を以て別れたり、今秋より花園に草花を手植ゑ益此の事業の爲め婆さんと横田老姉は樂しみ居らる、凡ての小さき我等の事業の上に妙なる主の御力を仰ぎ來る。

來月東京に開かるゝ大會へ當支部を代表して城のぶ子姉出席さるゝ事に決せり。

○シヤトル婦人矯風會　二月七日午後二時半ミス、フアイフ婦人ホームにて例會を開く、會頭不在の爲め副會頭高橋夫人司會せられ、久布白牧師の演說、書記、會計、花の課の報告ありて後各自親睦をなして閉會。

三月六日午後二時半より組合教會にて開會吉岡牧師の演說あり、司會者より花の課の事業として救世軍に助力して、古花類を集め、寄附することにつき相談あり、次で前日當選せられし新市長カテリル氏に祝狀を呈する議を決して茶菓に移る。

附記前市長ギル氏は米國に類なき公娼を市中に認可し、市民の憤慨によりて一時退去を餘儀なくせられしにもかゝはらず、再び市長候補となり危く半數以上の勢力を得んとせしも正義派の非常の働きにて終にカテリル氏の勝利に歸りぬ。

四月九日午後三時、キヤサリンホームにて開會、ミスフハイフ司會の許に書記、會計、花の課の報告ありミススユエットの獨唱ありて會頭の旅行談をきく讚美歌を以て閉會、後茶菓の饗應に移る會集十三名小供數名。

○佐賀婦人矯風會の近況　去る六月十二日和佐さく子姉司會の許に二十四名の婦人集會せられ母の會と關兒の爲めに、服部鶴子姉の教話あり、尙東京に開かるゝ大會へ一名代員を送らん事を議し來會の寄附を募られし由。

同市にてはますゝゝ禁酒事業のために貢献せらるゝ方多く近に安藤太郎氏を聘せられて禁酒會の設立を見られし由なり。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

週刊

婦人讀物中の米の飯

# 婦女新聞

毎週金曜發行

毎號十六頁

一部金六錢（郵送料共） 三ヶ月（十三部）前金七拾貳錢 半ヶ年分壹圓參拾五錢 一ヶ年貳圓六拾錢（郵送料共）

十二年間一週も怠らず同一の態度を以て婦人界女子教育界の爲めに貢獻し來りたる本紙は今回一大飛躍を遂げ四月第一金曜より從來の八頁の紙面を倍加して十六頁とし「婦人讀物中の米の飯なり」との評を一層事實に現じ來れり試に內容の一端を說明せんか、先づ

**社說**は十二年間一貫せる穩健着實の主義を以てあらゆる婦人界女子教育界の問題を評論し**雜報**は婦人界女子界の出來事の外宮廷政治經濟外交軍事等に關する事も國民として心得ざるべからざる重大事項は總て網羅し**名家訪問**の欄には常に各博士大家の意見を掲げ**特別寄書**には社友諸氏の精神修養若しくは實驗談あり**子供欄**には毎號無邪氣なる小兒の言行を集め**婦人の告白**には悲觀樂觀懺悔談等各種階級の讀者が自白を紹介し**趣味口演**には貞女烈婦等の事跡を新講談風に面白く綴り**家庭と實際**には家庭に關する有形無形の實際的記事を載せ**漫畫及寫眞**は記事と相俟つて實益と趣味を助け今後の紙面に大なる光彩を添ふべく**健康顧問**の復活は讀者の衛生上の質問に答へ**文藝、通俗科學、其他の**各欄も面目を**一新**すべし

英語普及會編

## ポケットナショナル

ナショナルリーダーを袖珍形に縮刷せしもの
卷一、二合本定價三十五錢（送料四錢）
卷三、定價二十錢（送料二錢）卷四近刊

東京小石川區大和町九番地　婦女新聞社　電話番町一三〇六　振替東京二八〇七　●取次　東京堂　東海堂　北隆館　良明堂　其他全國書店

賜天覽

# 肺結核と深呼吸

定價七十五錢
郵稅八錢

三版

▲男爵 後藤新平題辭
▲醫學博士 二木謙三序
▲慈專醫學士 小田部莊三郎著

健康なる方々よ。本書に就ていかに將來に健康を維持し、元氣と活力とをいかに養ふべきかを學べ。
病める人々よ。本書に依て初期の病を醫治と生理的生活上に據りていかに本病を征服すべきかを學べ。

新刊

# 母の典型

（皆田篤實著）

定價五十錢
郵稅六錢

美本

母モニカ出づ！少女として、處女として、花嫁として、妻として、母としてのモニカ傳出でたり！

新刊

# 恩寵溢るゝの記

定價一圓
郵稅十二錢

菊判

▲ジヨン・バンヤン作
▲松本雲舟譯
▲口繪とバンヤン肖像入

天路歷程と並び稱せらるゝグレエス・アバウンデイングの飜譯也。バンヤンの自叙傳也。懺悔錄也。
信仰の友として偉大にして然かも懐かしきバンヤンの生涯は本書の裡に躍如たり。

■東京銀座 警醒社書店 振替東京五五三番■

院長診察、月、水、木、金午前、入院、診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

# 東洋內科醫院

電話本局 八八八番（病院用） 八九八番（私宅用）

東京神田區駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士　高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

# 南湖院

電話ちがさき二番

河野、高橋、兩兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察、土曜日午後、入院、診後應需



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿九日 第三種郵便物認可）婦人新報第百八十二號（大正元年八月廿五日發行 每月一回發行廿四日納本）

本誌定價一部金六錢



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA